

# ホホバ

## 頒布会便り



発行  
毎月一回  
(株)アイリス

暦の上では春とはいえ、一年で一番冷え込みの厳しいこの時季は、お肌の乾燥トラブルが増する季節でもあります。

空気も冷たく、寒さも厳しいこの時季こそ、しっかりと乾燥対策をしてお肌を守りましょう。

### 乾燥から来る

#### お肌の老化を防ぐ

この時季のお肌は、秋から冬の乾燥ダメージが徐々に蓄積され、とても敏感で、傷つきやすい状態になっています。

今の季節はお肌のダメージを悪化させず、しっかりと保湿してお肌を乾燥から守るお手入れが必要です。

お肌の乾燥は、紫外線による光老化、加齢に次ぐ肌の老化原因です。しっかりと潤いケアをして、お肌の老化を防ぎましょう。

### 乾燥で肌は硬く厚くなる

透明感のある瑞々しい素肌は、お肌の水分量が充分あり、弾力のある



健康な状態です。

しかし、乾燥が進んで水分量が低下すると、お肌は角質層を厚くして水分の低下を防ごうとします。角質層の厚くなったお肌は、弾力を失ってくすみ、シワができて、すい硬いお肌となってしまいます。

### 冬のお手入れは

#### お肌の潤いケア

冬のお肌のお手入れは、何よりも乾燥対策と潤いケアがすべて。お肌の水分量を保って、潤いのある素肌を取り戻す事で、角質層も正常に働き、新陳代謝を活性化させて、お肌も柔らかく弾力を取り戻します。

正しいお手入れで、潤いのある素肌をキープしましょう。

# 冬のお肌は徹底保湿で潤いキープ 乾燥からお肌を守るお手入れを

お肌の乾燥が進み、鏡を見るとくすみや小ジワが気になるこの季節は、乾燥からお肌を守り潤ったお肌を保つため、ホホバをどうぞご活用ください。

お顔や髪のお手入れだけでなく、全身の乾燥対策に、ホホバで徹底保湿して冬の素肌を守りましょう。

## ◆お肌の乾燥 髪の乾燥

空気が乾燥し、静電気が溜まりやすいこの季節は、お肌の乾燥も進んで潤いが不足し、カサつきやゴワつきが気になり出します。

お肌の潤いを保ち、瑞々しい素肌のため、この季節は保湿のお手入れが非常に重要となります。↓

✓ 保湿のお手入れで気を付けたい事は、お肌の水分量と油分のバランス。お肌に浸透し、角質層を柔らかく、水分の蒸発を防ぎ、潤いを守るにはお肌がしっかり水分を含んだ状態でお手入れする必要があります。

洗顔後や入浴後は、できるだけ早くホホバを伸ばして水分の蒸発を防ぎましょう。



## ◆お休み前のホホバで お肌の潤いを回復

夜、寝る前には、ホホバをお顔全体にたっぷり塗って、そのままお休みください。

寝ている間に、お肌に浸透したホホバが、潤いを保って修復を助けてくれるので、翌朝にはお肌が弾力を取り戻し、プルプルの柔らかい肌に。



◆蒸しタオルパックで  
しっかりと浸透、潤い肌に

お風呂で洗顔後、ホホバをお  
顔にたっぷり塗り、湯船に浸  
かっている間(鼻・口の部分は空  
けて)蒸しタオルを顔に乗せます。  
蒸しタオル+ホホバでお肌も  
しっかりと潤ったモチモチ肌にも  
お顔だけでなく、傷んだ髪にも  
おススメです。

◆脇腹・背中・すねの  
痒み・サメ肌防止に

冬場は、乾燥性の痒みでお困  
りの方が増える季節です。  
ザラついたサメ肌も、ホホバ  
で徹底保湿すれば、ザラつきが  
無くなり乾燥性の痒みも収まり  
ます。  
痒みが起こる脇腹や背中・す  
ねには、お風呂上がりにはホホバ  
をたっぷり塗り保湿しましょう。

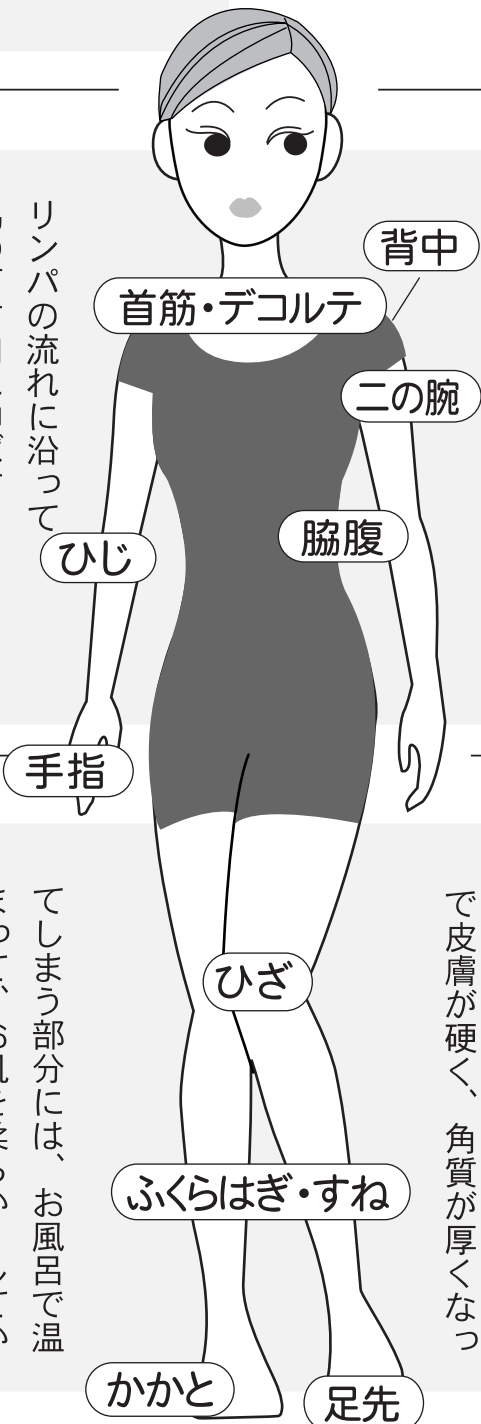
◆首筋・デコルテ

首筋や胸元(デコルテ)は皮膚  
が薄く年齢の出やすい部分で、  
冬場はきちんと保湿しておかな  
いと小ジワやたるみの原因に。  
お風呂上りにはたっぷりホホ  
バをのばしておきましょう。

◆手指・足先

手指や足先は、たっぷりホホバ

リンパの流れに沿って  
脇の下方に伸ばすと  
マッサージにもなりおススメ。



◆ひじ・ひざ・かかと

でしっかりとガードしましょう。  
特に、水仕事のあとは忘れず、  
日に何度でも、こまめにホホバ  
でお手入れをしてください。

ひじ・ひざ・かかと等の乾燥  
で皮膚が硬く、角質が厚くなっ

てしまう部分には、お風呂で温  
まって、お肌を柔らかくしてか  
らホホバを。  
さらに、お休みにたっぷり  
と塗り、手袋や靴下をしたまま  
で寝れば、翌朝にはお肌の感触  
がまるで違います。